

1 算数科における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項

(1) 学習指導要領改訂の基本的な考え方

- 教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ「生きる力」を育成
- 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視
- 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

→「生きる力」より

- ・ 基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

(2) 算数科の改訂のポイント

① 教科目標（下線部分は主な変更箇所）

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

② 改訂のポイント

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着のため、発達や学年の段階に応じた**反復（スパイラル）**による指導を充実。
- 国際的な通用性、内容の系統性の確保や小・中学校の学習の円滑な接続等の観点から必要な**指導内容を充実**。
- 学ぶことの意義や有用性を実感できるよう、数量や図形についての知識・技能を実際の場面で活用する活動などの「**算数的活動**」を指導内容として学習指導要領に規定。
- **言語活動の充実**の観点から、新設の〔算数的活動〕において、「言葉、数、式、図を用いたりして考え、説明する活動」、「目的に応じて表やグラフを選び、活用する活動」などを規定。

(3) 学習評価の改善のポイント

① 学習評価の改善に係る三つの基本的な考え方

- ・ 現在行われている学習評価の在り方を基本的に維持しつつ、その深化を図る。
- ・ 新しい学習指導要領における改善事項を反映させる。
- ・ 地域や学校、児童の実態に応じて効果的に行われることを重視する。

② 学力の三つの要素との整理

基礎的・基本的な知識・技能 → **技能** 及び **知識・理解** で評価

課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等 → **思考・判断・表現** で評価

主体的に学習に取り組む態度 → **関心・意欲・態度** で評価

③ 評価の観点の趣旨の変更

【算数への関心・意欲・態度】

数理的な事象に関心をもつとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとしている。

【数学的な考え方】

日常の事象を数理的にとらえ、見通しをもち筋道立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けている。

【数量や図形についての技能】

数量や図形についての数学的な表現や処理にかかわる技能を身に付けている。

【数量や図形についての知識・理解】

数量や図形についての豊かな感覚をもち、それらの意味や性質などについて理解している。

## 小学校 算数

### ④ 単元の指導と評価計画の作成

- ・ 単元の目標を分析して、各時間のねらいにふさわしい 1～2 観点 に評価項目を精選し、「指導と評価の計画」の中に示す。
- ・ 全員の評価の機会とする観点には「◎」、それを補完する評価の機会については「○」 を付けて、観点別にどのような評価の機会としたかが分かるようにする。

<参考資料> 「小学校学習指導要領解説（算数編）」

「評価規準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料【小学校 算数】」

## (4) 算数科における言語活動の充実

### ① 言語活動の充実に当たって

- ・ 児童の 思考力・判断力・表現力等 をはぐくむ観点から，基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに，言語に対する関心や理解を深め，言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え，児童の言語活動を充実すること。
- ・ 各教科等の指導に当たっては，児童が学習の 見通しを立てたり学習したことを振り返ったり する活動を計画的に取り入れるよう工夫すること。

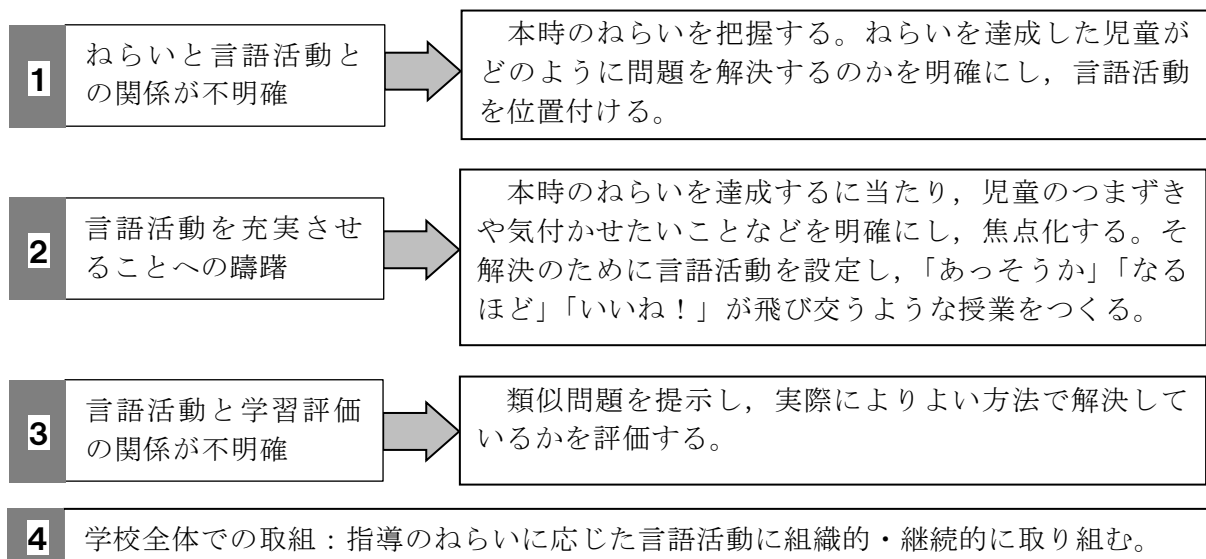
### ② 算数科における言語活動の充実に関わる評価

**算数科における言語活動によって思考力・判断力・表現力等が身に付いたことを評価する。**

### ③ 算数科における言語活動を充実させた指導

- ・ 見通しをもち，根拠を明らかにし，筋道を立てて考える学習活動 や，言葉による表現とともに数や式，図，表，グラフなどの数学的な表現を適切に用いて 問題を解決したり，自分の考えを分かりやすく説明したり，互いに自分の考えを表現し合ったりする学習活動 などを充実する。
- ・ 考え方のよさや誤りに気付いたり，筋道を立てて考えを進めたり，よりよい考え方を作ったり することができるようにする。
- ・ 様々な考えを出し合い，お互いに 学び合っていく ことができるようにする。
- ・ 帰納的な考え方や類推的な考え方，演繹的な考え方 を用いることができるようにする。

### ④ 言語活動の充実—その実施上の課題及び解決策—



<参考資料>

「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力，判断力・表現力等の育成に向けて～【小学校版】」  
(平成 23 年 10 月 文部科学省)